

平成21年7月24日

記者発表資料

平成20年度大気環境、水域環境の状況等(概要)

—SPM(浮遊粒子状物質)が全測定局で2年続けて大気環境基準達成—

神奈川県では、国及び政令市と連携し、大気環境及び水域環境の調査と、ダイオキシン類などの化学物質調査を行っています。

このたび、平成20年度の測定結果をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

県では、この結果を踏まえ、環境基準の達成・維持に向け、関係法令に基づき、工場・事業場や自動車の排出ガス対策、生活排水対策などを総合的に推進してまいります。

1 大気環境の状況 (別紙1)

大気汚染物質についての常時監視測定結果

- ・二酸化窒素の環境基準達成率は95.7%(92局中88局)となり、平成19年度より低下したものの、過去2番目に高い達成率であった。
- ・浮遊粒子状物質は平成19年度に続き、全測定局で環境基準を達成していた。
- ・光化学オキシダントは、平成2年度以降全測定局で環境基準を達成していない。

有害大気汚染物質の測定結果

- ・環境基準又は指針値が設定されている物質について、全ての地点で環境基準又は指針値を満足した。

2 水域環境の状況 (別紙2)

川や湖、海などの公共用水域の測定結果

- ・BOD又はCODの環境基準の達成率は86.8%(53水域中46水域)となり、平成19年度の88.7%(53水域中47水域)に比べ低下した。

東京湾では、環境基準を達成した水域が湾口部で1水域増加したが、相模湾では2水域とも環境基準を達成していなかった

- ・カドミウムなどの健康項目では、例年に引き続き1地点において砒素が火山地帯の自然的要因により環境基準を達成していなかったが、その他の地点ではすべての項目が環境基準を達成していた。

地下水の測定結果

- ・カドミウムなどの環境基準項目の環境基準の達成率は97.1%(105地点中102地点)となり、平成19年度と同様であった。

3 化学物質調査の結果 (別紙3)

ダイオキシン類環境調査

- ・県域(横浜市、川崎市、横須賀市及び相模原市を除く)において、大気(19地点)、公共用水域(32地点:水質及び底質)、土壌(15地点)及び地下水(8地点)合計74地点で調査を行った結果、全地点で環境基準を達成していた。

化学物質環境モニタリング調査

・トルエンなど12物質について、県域(横浜市及び川崎市を除く)において、排出量が多い市町を中心とした11地点で調査を行った結果、全地点で評価基準(大気環境基準等)を下回っていた。

- 別紙1 [平成20年度大気環境の状況について](#)(PDF: 300KB)
- 別紙2 [平成20年度水域環境の状況について](#)(PDF: 285KB)
- 別紙3 [平成20年度化学物質調査結果について](#)(PDF: 600KB)

参考資料

詳細はこちらをごらんください。

- [資料1 \(平成20年度大気環境の状況について\)](#)(PDF:550KB)
- [資料2 \(平成20年度水域環境の状況について\)](#)(PDF:1,360KB)
- [資料3 \(平成20年度化学物質調査結果について\)](#)(PDF:1,630KB)



PDFファイルを御覧いただくには、アドビシステムズ社が無償配布しているAdobe Readerが必要です。アイコンをクリックすると、ダウンロードページが別ウィンドウで表示されます。

問い合わせ先

[神奈川県環境農政部大気水質課](#)

課長 轉(うたた)

電話 045-210-4100

課長代理 小林

電話 045-210-4103

大気環境班 鷺山

電話 045-210-4111

水環境班 伊藤

電話 045-210-4123